

■佐賀市「わいわいコンテナプロジェクト」

まちなかに増え続ける空き地や青空駐車場を借り上げ、中古コンテナを活用した交流空間を創り出し、まちなかの賑わい再生に向けた効果的な仕組みを検証するため、平成24年から開始されました。

初年度の利用者は14、863人、その後毎年来場者数が増加しています。コンテナへの来場者の約半数以上がコンテナ利用後に徒歩で他の場所にも立ち寄っています。

コンテナがまちなかを訪れる動機になっているため、魅力的な立ち寄りスポットや歩行空間の創出が今後の課題となっています。

■山鹿市「山鹿ワイナリー構想」

菊鹿産ブドウで造られたワインが全国的に高い評価と人気を得て、地域資源に位置付けられています。生産振興会が発足し本格生産が始まったのが平成元年。その後、民間から悲願のワイナリーを菊鹿地区に建設したいとの申し出があり、平成30年の建設を目指して基本計画を策定しました。

ブドウ畑の増反を目指すため、国や県の補助金も活用し、山鹿市

物産振興事業（ワイン用ブドウ増産）実施要領を策定して整備を進めています。ワイナリー構想は、

まだ計画実施途中ですが、ワイナリー建設を通じて産業振興と観光振興が着実に実行されているのが伺えます。

■糸島市「農力を育む基本計画」

農力を育む基本計画は、糸島市農力を育む基本条例に基づき、安全・安心な食料の安定供給、農業・農村の振興を強力に推進するために策定されました。この計画は、基本的な施策を掲げ、具体的な行動・実践計画となっていることを強く感じました。特筆すべきは年度ごとの達成数値目標を掲げており、策定に向けて前向きな意欲を感じます。また、基本条例で市、農業者、食品産業者の責務だけでなく市民に対しても役割を明確にしています。

本市の基幹産業である農業の課題は担い手の不足、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加、滝川ブランドの確立などの克服へ向け、糸島市のような基本条例や数値目標を伴う基本計画を早期に策定する必要性を感じました。

厚生常任委員会

平成27年10月21日から23日にかけて、香川県高松市、岡山県高梁市、広島県東広島市の行政視察を行いました。

■高松市「高齢者居場所づくり事業について」

高松市では、高齢者が気軽に集える居場所の開設運営を行う個人または団体に対して助成金を交付し、介護予防や健康づくりを推進することにより地域の包括ケアの実現を目指しています。地域の自治会の集会所や地域センターなどで週に1回、2時間程度の集会を開き、趣味やゲーム、カラオケ、男性は将棋や囲碁、女性は手芸やおしゃべりを楽しんでいます。登録者数は3、800人で、市民が高齢者の居場所を開設しやすいように施設整備のための助成金を用意しているところに驚きました。また、高齢者居場所マップにより、利用したい高齢者や、



▲視察研修風景

運営している市民が情報交換できるようなシステムが作られています。市民参加の運営が行われています。

■高梁市「健康づくり事業・子育て支援事業について」

高梁市の健康づくり事業「我が家ではつらつチャレンジ60」については、食事や運動など生活改善のために取り組む内容を、21の目標コースとして設定しています。その中から選んだコースの達成に向けて60日間、各自で挑戦します。当初は高齢者や女性の参加が目立ったが、近年は企業や男性参加者も増えていきます。達成できた市民にはプレゼントが用意されており、生活習慣の改善や健康への意識の改革が図られています。

子育て支援事業は、出産から子育てを切れ目なくサポートする体制があり、結婚から育児までの専用窓口や妊婦の緊急時の支援体制があります。また、男女がともに子育てにかかわれるような社会にしていくなために、企業の子育てに対する取り組みを促進し、社会全体で子育てを応援する機運を醸成する「子育て応援企業登録事業」